

# 星野学園小学校新聞

星野学園小学校  
埼玉県川越市上寺山 216-1  
〒350-0826 Tel.049(227)5588

星野学園小学校  
Web

www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

## 「届け！平和への願い！」 ～ 六年生、長崎平和学習無事終わる～

五月二十三日(木)二十五日(土)の二泊三日で、今年も長崎平和学習が行われた。昨年度とは打って変わり、今年度は天候にも恵まれ、気持ちの良い青空の下、平和学習と六年間の宿泊学習のまとめを行うことができた。この後、六年生は星華祭の発表に向けて、学校での事後学習に勤しむことになる。



星野学園小学校全校児童の平和への願いが込められた鶴を献上した。

五月二十三日から三日間、六年生は長崎に宿泊学習に出かけた。総合的な学習の時間で学んできた「世界の中の日本」というテーマのまとめとして、「なぜ長崎に原爆が落とされたのか？」について事前学習で各自調べた。実際に長崎

を訪れ、平和祈念公園で実体験のあるガイドさんから話を聞き、原爆資料館で自分の目で確かめ、その答えを見つけた。思わず涙が流れるような悲しい話、目を覆いたくなく、原爆の悲惨さを知り、自分なりの意見や

考えをしつかり持ち、「『平和』のために自分たちができることは何か？」を真剣に考えることができた。また、太宰府天満宮ではそれぞれが学業祈願をし、お守りやおみくじを買って大事にし、嬉しそうな表情が印象的だった。



平和祈念像の前で、改めて平和への思いを確認した。

弥生時代の歴史を残した吉野ヶ里遺跡では、当時の暮らしを想像しながら、実際に住居に入って暮らしぶりを学習した。また、ロウ石を削って勾玉作りを体験し、オリジナルのお土産に心弾ませた。

そして、最終日は楽しみにしていたハウステンボスでの班別行動。自分たちで立てた計画に基づいて地図を片手に、皆で協力しながら思い切り楽しんだ。暑い中、真っ赤な顔をして楽しかったアトラクションの説明をしてくれた子どもたちの表情は生き生きしていた。

天候にも恵まれ、全員元気で、とても充実した宿泊学習だった。子どもたちは楽しかった思い出と共に、「平和への願い」をずっと忘れることはないだろう。(斉藤)

## 一年生の二カ月

毎日ドキドキワクワク



ハウステンボスで、6年間の友情をより一層深めた。

新入生は毎日新しいことだらけで発見の連続だ。嬉しいことには大きな声で笑い、驚いたことを全体で表現する。そんな小学校一年生の二カ月の様子を少しだけ覗いてみよう。



上級生との交流の機会も増えてきた。

積極的に関わる姿も見られる。昇降口から教室まで連れて行ってあげたり、朝の時間や休み時間には教室に来て、学習の準備のお手伝いをしてくれたり、星野ドームや遊具場で一緒に遊んだり、星野学園の先輩として新しい仲間への入学を喜んでくれる。これからの毎日の生活の中での経験やいろいろな行事を通して、頭も心も体も強たくたくましく成長してほしいと願っている。(水村)

星野学園小学校のwebページでは、子どもたちの毎日の活動の様子を随時更新しています。学校説明会やオープンスクールなどの情報も掲載しています。

http://www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

# 実物に触れ学ぶ

## 社会科見学・校外学習

星野学園小学校の春の行事は、豊富なフィールドワークで幕を開ける。中でも中学年以上は学習色を強めた校外学習と社会科見学を行う。今回は四年生の「ごみの学習」と、三年生の「川越めぐり」を紹介する。

五月十七日(金)に、様子を見ることのできた。一度に約三トとして、川越市資源化センターと小畔の里クリーンセンターへ行った。見学を通して、ごみ処理の仕組みから、そこで処理されたごみが埋め立て地へ運ばれ処分するまでを見学した。



川越市立博物館では、歴史や蔵造について理解を深めた。

資源化センターでは、地域から回収して来たごみを実際に処理する様子を見ることができた。一度に約三トとして、川越市資源化センターと小畔の里クリーンセンターへ行った。見学を通して、ごみ処理の仕組みから、そこで処理されたごみが埋め立て地へ運ばれ処分するまでを見学した。



資源化センターで3Rを学ぶ。

また、三年生の校外学習では、川越めぐりを行った。川越市立博物館では、川越市の歴史について展示物を見たり、解説を聞いたりしながら学習をした。その後、すぐ近くに

また、三年生の校外学習では、川越めぐりを行った。川越市立博物館では、川越市の歴史について展示物を見たり、解説を聞いたりしながら学習をした。その後、すぐ近くにあり、立派な外観や当時の様子が再現された部屋など興味深々であった。すぐ近くには「通りやんせ」発祥の地である三芳野神社があり、全員でお参りをすることができた。

### 五、六年生合同レク

今年度は新しい試みとして、月に一度、土曜日の特活の時間を利用して、五年生と六年生が合同でレクリエーションを楽しんでいる。はじめにその月のお誕生日の子を皆で祝った後、全員が楽しめるスポーツ大会をするといった内容だ。企画や当日の司会も順番で子どもたちが担当している。



どんな時も司会者は緊張する...

### クラブ活動で豊かな成長を!

星野学園では、全として家庭科、パソコン、人教育の理念のもと、工作、昔遊び、科と、学力だけでなく、学、音楽、囲碁将棋クラブがある。子どもたちの心と体の豊かな成長を目指し、多彩なクラブ活動を行っている。四年生から六年生の児童クラブと体操クラブが新設された。

### 春の遠足

毎年恒例行事である、一年生の春の遠足。行き先は東松山市にある「埼玉県こども動物自然公園」だ。当日は天候に恵まれ、星野学園小学校に入ってから初めての遠足を、一年生は全力で楽しんできた。動物公園内では、モルモットとウサギを実際に抱いたり、ヤギにエサをあげたり、動物と触れ合う活動を行った。初めて動物に触れる子もいて、最初は慣れない手つきスポーツに興味を持つてほしいという教員



生命との触れ合いに笑顔がこぼれる。



全身を使って、一生懸命登る。

子どもたちがこのような姿に、一年生の頃より特色あるクラブ活動に意欲的に参加し、異学年と交流し、お互い助け合う姿は微笑ましい。

### 小中合同体育祭

今年も小中合同体育祭が五月十三日(月)に開催された。前日の夜から雨が降り、開催が危ぶまれたが、朝が近づくにつれ雨は止み、最高のグラウンドコンディションの中で開催となった。小学校からは、一年生と二年生が中学校の体育祭に参加した。一・二年生合同の「追っかけ玉入れ」、一年生の「電車でGO!」、二年生の「綱引き」と合計三つの種目に参加をし、体育祭を盛り上げた。一年生の「電車でGO!」では、中学生と一緒にタイガーパーを持って走る姿に、会場が笑顔に包まれた。二年生の「綱引き」では、中学生と一緒に声を出して綱を引く姿に、一年生の頃より特色あるクラブ活動に意欲的に参加し、異学年と交流し、お互い助け合う姿は微笑ましい。



逃げるほうも必死です。